



飯豊町立飯豊中学校  
第3学年通信  
No. 41  
令和3年11月12日  
文責 中川 修

いざ！岩手！！ いざ！東北！！

待ちに待った修学旅行 いよいよ出発です。

木曜日の最終打ち合わせ、金曜日の荷物点検など、ほとんどの準備を終え、来週月曜日から、いよいよ岩手・宮城方面を研修地とした修学旅行が始まります。数回の延期・内容の再検討を経ての修学旅行ですので、皆さんもお家の方も「やっと思行ける」という思いが強いのではないのでしょうか。あとは、簡単な身の回りの荷物準備と体調管理が最後の仕事になります。万全の準備で月曜日を迎えてください。

この修学旅行を実施するにあたり、皆さんも短時間で忙しく準備を進めてきましたが、お家の方にも金銭面のご協力だけでなく、準備段階でのアンケートや会議等、様々な面でバックアップをしていただきました。それは、修学旅行は「中学校生活の大きな思い出となる行事」で

あり、「他の行事では得ることが難しい大切な学びの場」であることを、お家の方々もきちんと理解していただいているからです。多くの学校で、修学旅行が中止されたり、旅程が大幅に変更・短縮されたりしている中、飯豊中のように県外へ2泊の修学旅行ができるのは、皆さんのお家の方のおかげであるということを忘れないでください。

もちろん、旅行といえば「お土産」という文化が日本にはあります。皆さんもこの旅行で「何のお土産を持ち帰ろうか」と考えている人も少なくないと思います。しかし、旅行先で買いそろえた、現地ならではの品物だけが、今回のお土産ではありません。皆さんが体験した「楽しさ」「嬉しさ」「感動」そして「ちょっとした失敗談」、皆さんが見聞きして感じた経験すべてが、今回の修学旅行の「お土産」です。ぜひ、皆さんにはそんな「心の中のお土産」をたくさん持ち帰ってほしいと思います。そして、そのお土産を皆さんの言葉でお家の方に伝えてください。（裏面に続く）



長沼もえさん作  
今年の表紙です

そのためには、修学旅行のサブテーマ

**「持っていくのはルールとマナー 持って帰るのは最高の思い出」**

を全員で意識して、苦勞をちょっとだけ我慢して、全力で楽しむことが大切です。

家に帰ってから「修学旅行 どうだった??」と聞かれたとき、話しつくせないくらい  
のたくさんの楽しい思い出であふれる修学旅行になることを、期待しています。

**進路情報**

①荒砥高校と白鷹町より、入学時のサポートに関わるフライヤーが届いています。今までも入学に際して様々な支援をしていましたが、その内容が大きくリニューアルされているようです。詳しくは本日配付のフライヤーをご覧ください。(本校HPにも資料をアップしております)

②私立推薦に関わって高校からノミネートを受けた皆さんの中で、個別面談を希望している皆さんの面談が、修学旅行明け18日(木)からスタートします。詳しくは本日以降、担任からお家の方へ個別にご連絡いたします。複数回ご来校をお願いするお家も出てくるかと思いますが、ご理解とご協力よろしくお祈いします。

今後、ご希望に沿って私立高校との個別面談を計画します。日程調整の都合上、来週水曜日までには面談希望の有無を担当までお知らせください。複数の高校のお話を希望する場合、極力同日になるように努力いたしますが、高校の都合によっては、複数日にまたがっての面談をお願いする場合がございます。ご理解のうえご協力をお願いいたします。

**修学旅行諸連絡**

木曜日の学年総会を経て、修学旅行のしおりが完成しました。緊急連絡先などの大切な連絡もありますが、電話番号が記載してありますので、学校HPには掲載できません。お子さんのしおりを確認いただき、必要な情報はメモをしていただいで対応くださるようお願いいたします。



**荒砥高校をサポートする会**  
事務局・白鷹町教育委員会  
TEL.0238-85-6144  
R03.9月発行